

千葉県複合材料技術研究会が発足

邊吾一日大生産学部教授が会長に

千葉県産業支援技術研究所(略称「産技研」、千葉市稲毛区天台六一三一一、電話〇四三一二五二局二〇一室)は、千葉県内の複合材料関連産業の活性化を図るため、産官学が連携して活動することを目的に「千葉県複合材料技術研究会」を設立する準備を進めていたが、去る六月十五日(金)十五時三十分から同研究所天台庁舎会議室において設立総会を開催し、同日、正式に発足した。

設立総会には、同研究会の「技研の興津俊雄次長が参事者として賛同する企業三三社の代表や個人など五五名が出席した。当日は、司会を担当した産



開会あいさつを述べる山本修一産技研所長



会長に選任された邊吾一日大教授



写真は千葉県複合材料技術研究会の設立総会会場風景

(千葉大学工学部准教授、当日は欠席)、松嶋正道氏(宇宙航空研究開発機構主任研究員)、藤井秀美氏(㈱藤井製作所代表取締役)、小澤延行氏(㈱ヴァンテック技術サービス部長)、山本修一氏(千葉県産業支援技術研究所所長)の六氏を紹介したのちに、日ごろ県内企業の方々と技術面のつきあいをさせて

頂いている。企業間の競争が国際的な規模で広がる中、各企業の競争力を高めるには既存の技術や製品に頼るだけでなく、新しい分野への取組みが必要ではないかというところになり、最近、各方面に用途が拡大して注目を集めている複合材料について産官学の連携による研究を進めて産業の活性化につなげるべく、先ほどご紹介させて頂いた皆様による準備委員会を設けて、後ほど発足する予定の研究会の設立について種々ご努力頂いて今日に至った。千葉県では昨年、千葉新産業振興戦略を策定し、継続的な強い千葉経済を実現する施策が盛り込まれているが、その中の重点項目の一つに新製造技術関連分野というのがある。本日設立される複合材料技術研究会の

生方のご指導と本日ご出席の企業の方々のご協力により、この研究会が大きな成果をあげていくことを願っています。ご一層ご協力をお願いします。とあいさつを述べた。

次に、仮議長藤正倫次長を理事に入り、①主任、②平成19年④同収支予算案技術材料研究部部長 福島清室長が副議長に就任した。

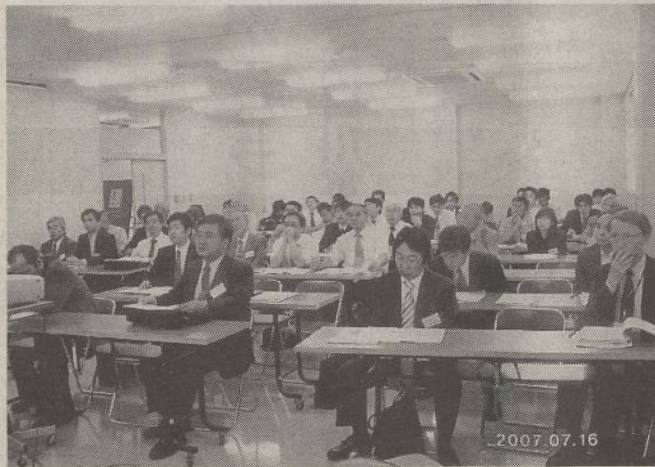
県内複合材料産業の技術向上

会員相互の連携と情報交換をめざす

千葉県産業支援技術研究所(天台庁舎)に事務局が置かれることになった千葉県複合材料技術研究会は「新素材・新材料の研究開発や環境問題等に配慮した新たな複合材料分野への取り組みを推進する」とともに、県内の複合材料関

連産業の技術の向上ならびに会員相互の連携、情報交換を図ることを目的として、①複合材料技術に関する情報交換、調査・研究、②本条の目的を促すために必要な事業を行う(第2条)ことになった

福田博氏が複合材料の



写真は福田博氏による記念講演に聴き入る参会者



千葉県複合材料技術研究会(一)、電話〇四三一二五二局二〇一室(千葉市稲毛区天台六一三一一)は

総会で承認された年度の事業計画工場見学会、企業交換会など、講演会、意見交換会など、役員及び事務局長(邊吾一日大)副会長(二名)